

平成 21 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 タ カ ラ ト ミ 一
代 表 者 名 代表取締役社長 富山幹太郎
(コード番号 7867 東証第 1 部)
問い合わせ先 執行役員管理本部長 田島 省二
T E L 03-5654-1548

通期業績予想の修正および特別損失の発生に関するお知らせ

平成 21 年 2 月 3 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。
また、平成 21 年 3 月期第 4 四半期において、特別損失が発生いたしますので、併せてお知らせします。

記

1、通期業績予想の修正について（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

(1) 平成 21 年 3 月期 連結業績予想数値の修正 (単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	177,000	4,000	3,800	1,100	11.94
今回修正予想 (B)	180,000	5,000	5,400	1,350	14.66
増減額 (B-A)	3,000	1,000	1,600	250	2.72
増減率 (%)	1.7	25.0	42.1	22.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	192,423	6,097	5,498	5,748	60.22

(2) 平成 21 年 3 月期 個別業績予想数値の修正 (単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株あたり 当期純利益
前回発表予想 (A)	78,000	5,000	5,400	3,000	32.57
今回修正予想 (B)	79,000	5,200	6,000	3,000	32.57
増減額 (B-A)	1,000	200	600	0	—
増減率 (%)	1.3	4.0	11.1	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 20 年 3 月期)	77,442	4,117	4,658	3,365	35.25

2、修正の理由

(1) 連結業績について

連結業績につきましては、トレーディングカード「デュエル・マスターズ」や男児向玩具「バイブルード」などの戦略重点商品の拡販に注力したことなどにより、主力の玩具販売が国内・海外とも前回見込みより持ち直し、また、グループ全体で販管費の更なる圧縮を進めたことから、営業利益が前回予想を上回るとともに、営業外損益の好転により、経常利益も前回予想を上回る見込みとなりました。当期

純利益では、下記特別損失の計上もあり、前回予想を若干上回る見込みであります。

(2) 個別業績について

個別業績につきましては、厳しい市場環境下での利益重視経営の徹底に加え、営業外費用が前回予想比で改善したことから、経常利益は前回予想を上回る見通しであります。当期純利益につきましては、下記特別損失の計上などにより、ほぼ前回予想の水準となる見込みであります。

3、特別損失の発生及びその内容（平成21年1月1日～平成21年3月31日）

(1) 連結

下記のとおり、平成21年3月期第4四半期において特別損失2,000百万円（第3四半期累計期間計上分は除く）を計上いたします。

①投資有価証券評価損 350百万円

平成21年3月末の時価が著しく下落した投資有価証券につき、投資有価証券評価損を計上するものです。なお、四半期における投資有価証券の評価方法は、切放し方式を採用しております。

②減損損失 500百万円

不採算事業につき固定資産減損処理などを行うものです。

③持分法投資損失 480百万円

持分法関連会社である株式会社ゴンゾロッソ株式減損処理（個別決算）に伴うのれんの償却であります。

④その他 670百万円

連結子会社TOMY CORORATION、TOMY UK LTD.、松山製菓株式会社などの事業再構築費用などであります。

(2) 個別

下記のとおり、平成21年3月期第4四半期において特別損失1,470百万円（第3四半期累計期間計上分は除く）を計上いたします。

①投資有価証券評価損 310百万円

連結と同様であります。

②関係会社株式減損 1,140百万円

連結子会社および持分法関連会社に対する出資額につき、現在の収益状況および純資産の状況などを勘案し、株式評価損を計上するものであります。

③その他 20百万円

固定資産除却などであります。

【業績等の予想に関する注意事項】

この資料に記載しております業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上